

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正使用 留意事項	感染症(PT)	出典	概要
871	2008/01/30	70871	富士製薬工業	精製下垂体性腺刺激ホルモン	精製下垂体性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Arch Neurol 2007; 64: 595-599	行動および人格変化の後、速い進行性病状を呈した69歳女性の脳の死後剖検で、細胞内プリオン蛋白沈着およびアミロイド線維による軸索腫脹が認められた。病原体プリオン蛋白の生化学的分析の結果、ジグロコンシル種を欠く未知のPr ^{Sc} 3次元構造が明らかになった。遺伝子分析の結果、野生型プリオン蛋白遺伝子であった。このプリオン病原体はハタネズミでの継代に成功した。新規の病原体プリオン蛋白の細胞内蓄積による新しいプリオン病が明らかとなった。
												鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2007; 13: 1348-1353	2006年5月にインドネシアのスマトラ北部および2005年12月にトルコ東部の家族で観察されたトリインフルエンザH5N1の集団が、ヒト伝播によるか否かを統計的方法を用いて調べた。スマトラの例ではヒトヒト伝播の統計学的エビデンスが認められ、概算された2次感染率は29%、局所的増殖数の下限値は1.14であった。トルコの例ではヒトヒト伝播のエビデンスは得られなかった。
												鳥インフルエンザ	Reuters Foundation AlertNet 2007年9月27日	H5N1トリインフルエンザウイルスは妊婦の胎盤を通過して胎児に感染することができると研究者が報告した。ウイルスは肺だけでなく胃腸管、脳および血液細胞にまで達することも証明された。また、ウイルスは免疫系の一部を過剰刺激し「サイトカインストーム」を起こすだけでなく、マクロファージに障害を与えるなど免疫系の他の部分を抑制することが示唆された。
												感染	日本医真菌学会雑誌 2007; 48(Suppl 1): 83 第51回 日本医真菌学会総会	Conidiobolus coronatus)によるEntomophthoromycosisの中国での初めての症例報告である。36歳男性で、10ヶ月前より鼻閉が生じ、7ヶ月前より鼻背部が発赤・腫脹し、診察時、鼻全体より頬部、上唇にかけて高度の腫脹と変形を認めた。病理検査で慢性好酸性肉芽腫病変がみられ、rDNAの塩基配列分析の結果Conidiobolus coronatusと一致した。Itraconazole12ヶ月間投与により完全に治癒した。
872	2008/01/30	70872	富士製薬工業	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Arch Neurol 2007; 64: 595-599	70871に同じ
												鳥インフルエンザ	Emerg Infect Dis 2007; 13: 1348-1353	70871に同じ